



校長室だより 足立区立第九中学校

第115号 令和元年9月2日発行 長塚琢磨



【9月がスタート！ 前期を締めくくる！】

長い夏休みですが、終わってしまうと短く感じている生徒も多いと思います。多くの運動部では新旧交代し、第2学年がリーダーとして活動が開始されました。私は、休み中にたくさんの生徒と会いましたが、心や体を鍛え、大きく成長した生徒も多くいるように感じています。



さて、足立区立学校は二期制ですので、これから前期の期末考査が始まり、10月初旬には前期の学習の成果を通知表でお知らせします。保護者の皆様は、生徒と共に通知表をご覧ください、今後どのように自己を磨いていくかなどの助言をお願いいたします。

【いよいよ明後日 修学旅行に出発！】

9月4・5・6日は、第3学年の修学旅行です。6月から本格的に実行委員会が中心となり取り組んでくれていることを感じ大変嬉しく思っています。修学旅行を成功させるために大切なことを話し合い、自ら計画し、実行していく力は、これからの社会でとても大切です。



その頑張っている3年生と共に、世界でも有名な古都である京都・奈良を訪問できることはとても幸せなことです。第3学年の保護者の皆様は、生徒と様々なことを話してみてください。第1・2学年の生徒や保護者の皆様は、今から準備しておいてください。

【9月に贈る詩】

夏休みが終わり、新たな道を進み始める生徒たちに、この詩を贈ります。

前へ

少年の日に読んだ

「家なき子」の物語の結びは、

大木実

こういう言葉で終わっている。

— 前へ。

私はこの言葉が好きだ。

物語が終わっても、

僕らの人生は終わらない

僕らの人生の不幸は終わりが無い。

希望を失わず、つねに前へ進んでいく、

物語の中の少年ルミよ。

僕はあの健気なルミが好きだ。

つらいこと、いやなこと、かなしいことに

出会うたび、

僕は弱い自分を励ます。

— 前へ。

【安全について考えよう！ 9月1日は防災の日！】

9月1日は、関東大震災が発生した日です。また、暦の上では二百十日に当たり、台風シーズンを迎える時期でもあります。昭和34年9月26日の「伊勢湾台風」によって、戦後最大の被害を被ったことが契機となって、地震や風水害等に対する心構え等を育成するため、昭和35年6月11日の閣議で「防災の日」が創設されました。



この時期には、歴史的にみても大規模な災害が繰り返し起こっています。防災の日を機会として、災害を意識し準備しておくことが大切です。特に、「自助と共助」が大切であると言われています。「自助」とは、災害から自分の身を守ることです。「共助」とは、自助のあとに学校や地域等で力を合わせることです。素敵な仲間、素敵な学校、素敵な地域であり続けるために、今後ともご協力をよろしくお願いいたします。

【“社会を明るくする運動” 標語・作文表彰式！】

7月27日（土）に、区の庁舎ホールにおいて、第69回“社会を明るくする運動”中学生標語・作文コンテスト表彰式がありました。本校からは7人の2年生が、最優秀賞、優秀賞、優良賞、保護司会賞のすべてに入選し、区長から賞状をいただきました。



人を差別することなく、すべての人が明るく生活できる社会をつくることは、とても大切なことです。そのことを訴えた素敵な標語や作文は、大変価値があるものと言えます。ご家庭でも“社会を明るくする運動”について話していただければ幸いです。

【全国学力・学習状況調査結果から考える！】 ※ 詳しくはホームページをご覧ください。

活力ある生徒の育成を目指して

— 令和元年度 全国学力・学習状況調査結果からみる今後の取組の方向性 —

令和元年9月2日 足立区立第九中学校

基本的な考え方

生徒に、次代を創造する形成者として、知・徳・体のバランスのとれた資質・能力を育成する。

第九中学校の目標

【教育目標】
人間尊重の精神を基盤に自ら学ぶ意欲を持ち、社会の変化に主体的に対応し、国際社会で活躍できる知・徳・体の調和のとれた人間性豊かな生徒を育成する。

【行動指針】

- 「働く」努力し自己の上向きを促す
- 「関心」新しいこと等に立ち向かう
- 「思いやり」自他への思いを尊重する

【生徒の様子】

- 元気に挨拶、活力ある行事・部活動
- 学力や体力等の二極化傾向
- 主体的に学習態度の二極化傾向

学力向上のための方向性

授業態度：「しっかり聴く」「深く考える」「仲間と伝え合う」
生活態度：「挨拶、礼儀・マナー」「積極的な行動」「規範意識」
豊かな心：「思いやり」「自然や社会への関心」「読書の習慣」等
生活習慣：「早寝・起き・朝ごはん」「規則正しい生活リズム」

結果から見える課題

- 国語は「読むこと」が課題である。数学は、「算数」と「資料の活用」が課題である。英語は全体的に全国平均がそれ以上であり、特に「読むこと」が上回っている。
- 「規則を守っている」が低い数値である。「自分には良いところがある」など二極化傾向が見える。また、学校以外での学習量や読書量が都庁全国と比較して少ない。

学力調査及び学習状況調査結果(第3学年) 4月18日実施

国や都の動向

【国の方向性】

- 学習指導要領の改訂(3つの力)
- 主体的・対話的で深い学びの推進
- 開かれた教育課程(学校の地区)

【都の方向性】

- 東京都教育ビジョン(第4次)
- 連携・協働の推進や国際化への対応
- オリンピック・パラリンピック教育の充実

国語

全国平均とはほぼ同様の傾向にある。「読むこと」がやや下回ることから、読解や読書の習慣づくりなど取り組むことが課題である。

数学

全国平均をやや下回る傾向にある。特に、「算数」「資料の活用」が低いことから、学びの楽しさや基礎学力の定着に向けた取組が課題である。

英語

全国平均をやや下回る傾向にある。特に、「読むこと」が低い。今後は「読むこと」が導入されることから、読解や文化の理解を促すための取組が課題である。

読書時間や学習時間に関する調査結果

● 全体的に自己に新しい課題をしている傾向がみえる。特に、「学校の規則を守っている」等が低い数値であるが、「自分には、良いところがある」が二極化している傾向がうかがえる。

● 「朝食をきちんと食べている」と「家で、自分で学習的に勉強している」については、全国とほぼ同様の結果である。しかし、「一日当たりの勉強時間」と「一日当たりの読書時間」は、東京都や全国の平均と比較して下回っている。

★ 本校の生徒は、読書時間や学習時間、朝食等は適切であり、健康的な生活習慣が身に付いていると考えられる。今後の課題として、家庭等における勉強時間や読書時間を増やし、より深い理解に向けての習慣を確立することである。